

第二四四回ペン川柳会

令和六年九月三十日

お題 「抱・抱える」

■ 三春（火酒）

ウオツカ

お抱えの医者と坊主に先越され
抱き枕古女房に蹴飛ばされ

■ 稲宮（井波）

いなみ

抱き合わせ長寿裏目で義母の世話
出て来いよ星雲抱くステーツマン

■ 浜田（我々好）

ウイスキー

金メダル抱いて胸張るパリの夏
またかいな今日も昼メシ丸抱え

■ 松谷（零門）

れいもん

病巣を抱えていてもあの笑顔
落書きで懐いた孫を膝に抱き

■ 塚田（拿々）

だだ

選挙戦抱負語れどHOWはなし
お人好しついつい課題抱え込む

■ 八木（明迷）

めいめい

死に体も地位抱きしめる知事哀れ
お姫様抱っこ夢見てダイエツト

■ 大野（だし）

重い本抱えて通う図書館に
超美人抱擁をする夢を見た

■ 安藤(晃二)

てるつぐ

老いの身は凌雲の志を抱くなり

今宵また幸福託す抱き枕

■ 山縣(安兵衛)

やすべえ

あの美女に抱かれてみたい気にもさせ

夜仕事抱えさせるはパワハラだ

世話人 塚田 實(拿々)
だだ